

静岡県月例経済報告

(平成28年4月号)

……平成28年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 480

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	13
・雇用面	15
・その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成28年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成28年2月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱めの動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

需 要 面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(2月)は、百貨店が4か月ぶり、スーパーが3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(2月)は、家電大型専門店が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストア、ホームセンターで、いずれも前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、乗用車が3か月ぶり、軽自動車が14か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも23か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(2月)は、持家が3か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(2月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年4月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、弱めの動きとなっている。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(2月)は、エアコンが2か月連続、自動車は10か月連続、自動車の部分品が7か月連続、二輪自動車類が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が9か月連続、科学光学機器が12か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では5か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(2月)は、紙類及び同製品が4か月連続で前年実績を上回ったものの、その他の主要品目がいずれも前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、925億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(1月)は、電気機械や、パルプ・紙・紙加工品、輸送機械で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、食料品・たばこが3か月連続、化学が8か月連続で前年水準を上回ったことから、2か月ぶりに前月を上回った。また、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(1月)は、総合では11か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(2月)は1.25倍で、前月を0.01ポイント上回り、25か月連続で1倍を上回った。また、15か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(2月)は、31か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(1月)は、5か月ぶりに前年水準を下回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(2月)は、前年同月比2.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(2月)は、前年同月比12.0%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。

企業倒産(3月)は、件数は25件で前年同月比8.6%増と前年実績を上回った。負債総額は前年同月比2.8%減となり前年実績を下回った。

【世界お茶まつり2016の開催】

日本一のお茶の生産量を誇る静岡県は、長い歴史の中で培われた茶の文化、景観、産業などの資源が豊富な「茶の都しずおか」です。大茶園が広がる牧之原エリアの「富士山静岡空港エリア」と「島田市お茶の郷」の2カ所をメイン会場として、世界お茶まつり2016「春の祭典」が開催されます。緑鮮やかな茶園を眺め、風が運ぶ茶の香りと新芽を揺らす音で、静岡の新茶を愉しみましょう。

世界お茶まつり 2016

5月13日(金)・14日(土)・15日(日)

会場：富士山静岡空港、島田市お茶の郷、石雲院 ほか県内各地
時間：10～16時(島田市お茶の郷9～17時) ※一部に開催時間が異なるプログラムがあります。
入場料：無料 ※参加費や予約が必要なプログラムがあります。



会場 富士山静岡空港

- **茶と花のコラボレーション** (ターミナルビル2階 富士山回廊)
静岡県の花をあしらった「お茶の間」、フラワーアレンジメント作品と茶室を展示します。
- **茶と器のコラボレーション** (ターミナルビル2階 多目的会議室)
お茶を引き立たせる茶器の展示販売、器の産地と茶の産地を組み合わせた呈茶を行います。
- **ワールドO-CHAマーケット** (ターミナルビル前)
新茶をはじめ、静岡県の農芸品、お菓子などの販売。
- **お茶で学ぼう! 世界のこ** (ターミナルビル3階 展望デッキ)
世界各国の民族衣装の着付け体験や、世界各国のお茶のサービス。
- **高校生による茶の魅力発信** (ターミナルビル前)
モンゴル・ゲルでのバター茶や、日本茶のサービス。
- **ステージイベント** (石雲院展望デッキ)



会場 島田市お茶の郷 ※博物館への入場は有料

- **世界大茶会** (1階ホール・茶室)
プーアル茶、セイロン茶、和紅茶、藤枝茶、食べるお茶など個性豊かな茶席を体験できます。
- **世界茶文化体験** (博物館3階)
博物館に再現された世界の喫茶風景の中で、各国のお茶を実演。チベット族のバター茶、トルコのチャイ、中国のウーロン茶など、世界の茶文化を体験できます。
- **茶・ミュージアムガイドツアー** (博物館2、3階)
博物館に展示されている日本や世界のお茶の歴史と文化を、ガイドが案内・解説します。
- **茶摘み体験** (近隣茶園)
新茶の香りに包まれる中、茶摘みを体験できます。
- **日本庭園で楽しむお茶のカクテル** (中庭)
お茶とお酒がコラボレーション。お茶まつりオリジナルカクテルを味わえます。

会場 せきうんいん 石雲院

- **世界大茶会** (和室ほか)
抹茶、煎茶、パラグアイのマテ茶など多彩な茶席を体験できます。
- **茶の都しずおか創造セミナー** 〈海外から見た和食・緑茶の魅力発信〉 (本堂)
外国人ジャーナリストらが、和食と緑茶の魅力を語ります。
- **茶と禅と講和** (本堂)
東京広尾の香林院住職、金嶽宗信師による 座禅体験と、茶と禅の講話を、新茶とともに愉しめます。



会場 原子力防災センター

- **蘭字展** (2階展示スペース)
明治から大正時代に、輸出用の茶箱に貼られていた「蘭字」と呼ばれるラベルを展示。



その他のイベント

- **茶とフランス料理の饗宴**〈茶を使ったランチを愉しむ〉
- **JR東海さわやかウォーキング**
JR島田駅～島田市お茶の郷～JR金谷駅
- **新緑が薫る茶畑を走るサイクリングイベント**
会場：牧之原市切山地区
- **お茶摘み体験、茶会、新茶まつりなど**
蔵屋鳴沢(伊豆の国市)、グリーンピア牧之原(牧之原市)、香りの丘茶ピア(袋井市)ほか

この他にも、県内各地でさまざまなイベントやツアーが実施されます。

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 32,077百万円

*前年同月比： 3.5%増

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は32,077百万円で、前年同月比 3.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.0%増）が4か月ぶり、スーパー（同 3.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 2.2%増）が4か月ぶり、身の回り品（同 0.2%増）が2か月連続、飲食料品（同 4.3%増）が11か月連続、家庭用品（同 6.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は 4.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
販売額(百万円)	35,398	34,957	32,396	34,291	33,803	42,800	37,052	32,077
前年同月比(%)	2.5	2.9	2.0	4.4	▲1.3	0.2	1.8	3.5
うち百貨店(%)	4.0	3.6	▲4.9	7.7	▲3.9	▲1.5	▲0.8	2.0
スーパー(%)	2.1	2.8	3.6	3.6	▲0.6	0.7	2.5	3.8
(参考1)全国前年同月比(%)	2.1	1.8	1.7	2.9	▲1.5	0.0	1.0	2.2
うち百貨店(%)	3.6	2.7	1.9	4.2	▲2.6	0.3	▲1.5	0.5
スーパー(%)	1.2	1.4	1.6	2.3	▲0.9	▲0.2	2.4	3.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.0	1.8	0.3	3.0	▲2.6	▲0.4	2.4	4.8

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
衣料品	2.5	1.2	▲7.2	5.5	▲8.0	▲5.2	▲1.2	2.2
うち紳士服・洋品	5.1	3.3	▲7.0	5.4	▲9.0	▲7.8	▲2.1	5.9
うち婦人・子供服・洋品	1.4	0.3	▲7.4	5.0	▲7.7	▲3.6	▲1.6	0.0
身の回り品	13.5	7.9	▲0.2	8.5	▲6.6	▲2.0	1.1	0.2
飲食料品	2.2	2.8	4.3	3.7	0.8	2.2	3.1	4.3
家庭用品	3.5	3.2	▲0.5	8.5	▲0.1	0.3	6.4	6.8
うち家庭用電気機械器具	28.1	28.6	14.7	13.9	9.1	29.1	37.6	18.7

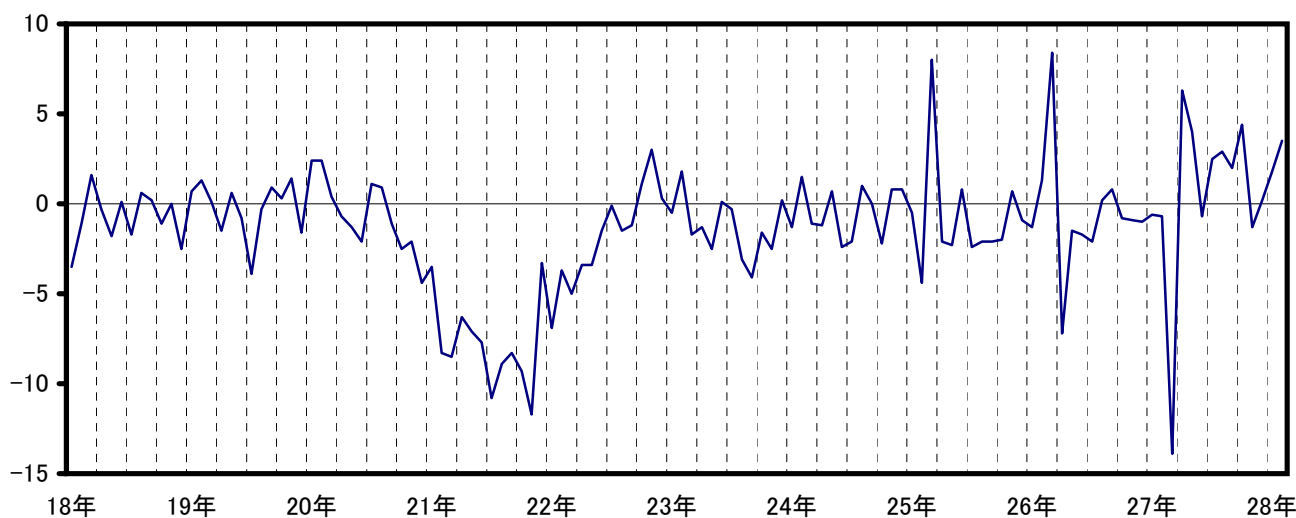
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

2月 = 5,540百万円

*前年同月比： 0.7%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

2月の県内3百貨店の販売額は5,540百万円で、前年同月比0.7%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別にみると、衣料品（前年同月比6.6%減）が4か月連続、身の回り品（同0.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、雑貨（同11.0%増）が3か月ぶり、家庭用品（同4.2%増）が2か月連続、食料品（同3.4%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
販売額（百万円）	6,976	5,317	5,356	6,365	6,563	9,026	6,971	5,540
前年同月比（%）	2.8	2.3	▲6.0	6.3	▲5.2	▲2.7	▲2.1	0.7
(参考)全国前年同月比（%）	3.4	2.7	1.8	4.2	▲2.7	0.1	▲1.9	0.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

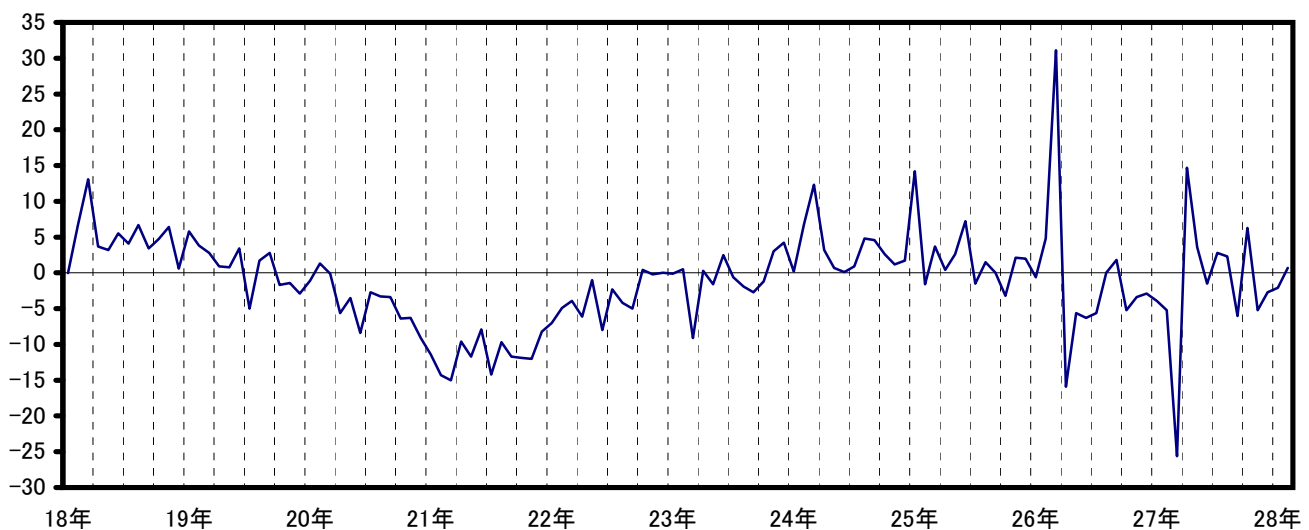
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
衣料品	1.2	▲4.9	▲13.5	1.8	▲12.3	▲6.0	▲6.5	▲6.6
うち紳士服・洋品	4.7	▲0.5	▲14.4	1.5	▲15.6	▲8.7	▲7.6	▲9.9
婦人服・洋品	0.3	▲5.5	▲13.6	2.1	▲10.8	▲4.4	▲6.7	▲5.1
子供服・洋品	1.0	▲12.0	▲6.1	▲2.0	▲16.8	▲7.3	▲10.0	▲16.4
身の回り品	10.0	5.8	▲5.4	9.8	▲6.1	▲0.8	0.6	▲0.5
家庭用品	▲7.1	▲9.7	▲11.6	15.7	▲2.9	▲15.3	2.3	4.2
食料品	0.6	▲1.0	▲2.3	3.6	▲2.4	0.7	3.2	3.4
雑貨	13.7	27.7	8.2	16.9	8.5	▲0.5	▲0.8	11.0
うち美術・宝飾・貴金属	18.7	55.2	24.3	9.7	10.8	▲5.8	▲20.3	5.2

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

2月 = 31,796百万円

*前年同月比： 5.5%増

(県内86家電大型専門店、447ドラッグストア、100ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は31,796百万円で、前年同月比5.5%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 0.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同 10.0%増）が11か月連続、ホームセンター（同 1.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
販売額(百万円)	38,783	37,396	32,242	33,878	33,811	42,593	34,535	31,796
前年同月比(%)	3.3	3.8	1.6	7.3	0.6	2.4	5.9	5.5
うち 家電大型専門店(%)	7.4	6.5	▲ 4.6	3.9	▲ 6.3	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6
ドラッグストア(%)	3.5	3.9	6.1	10.5	7.5	10.6	7.9	10.0
ホームセンター(%)	▲ 1.8	0.6	▲ 1.8	3.7	▲ 6.3	▲ 3.7	2.2	1.4
(参考)全国前年同月比(%)	6.0	7.8	4.0	6.8	1.9	1.1	5.1	4.8

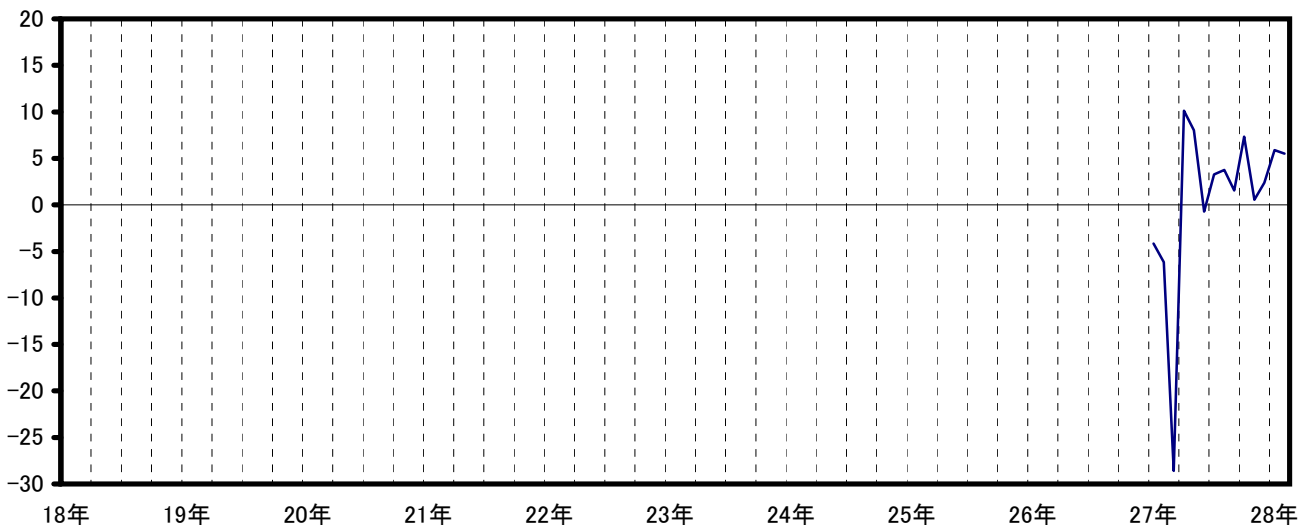
(注)販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 17,217台

*前年同月比： 5.3%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は17,217台(前年同月比 5.3%減)となり、23か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 1.9%減)が3か月ぶり、軽自動車(同 8.9%減)が14か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
登録台数(台)	14,211	10,888	15,890	12,880	13,034	13,192	14,747	17,217
前年同月比(%)	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 7.4	▲ 4.0	▲ 7.6	▲ 14.6	▲ 4.4	▲ 5.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

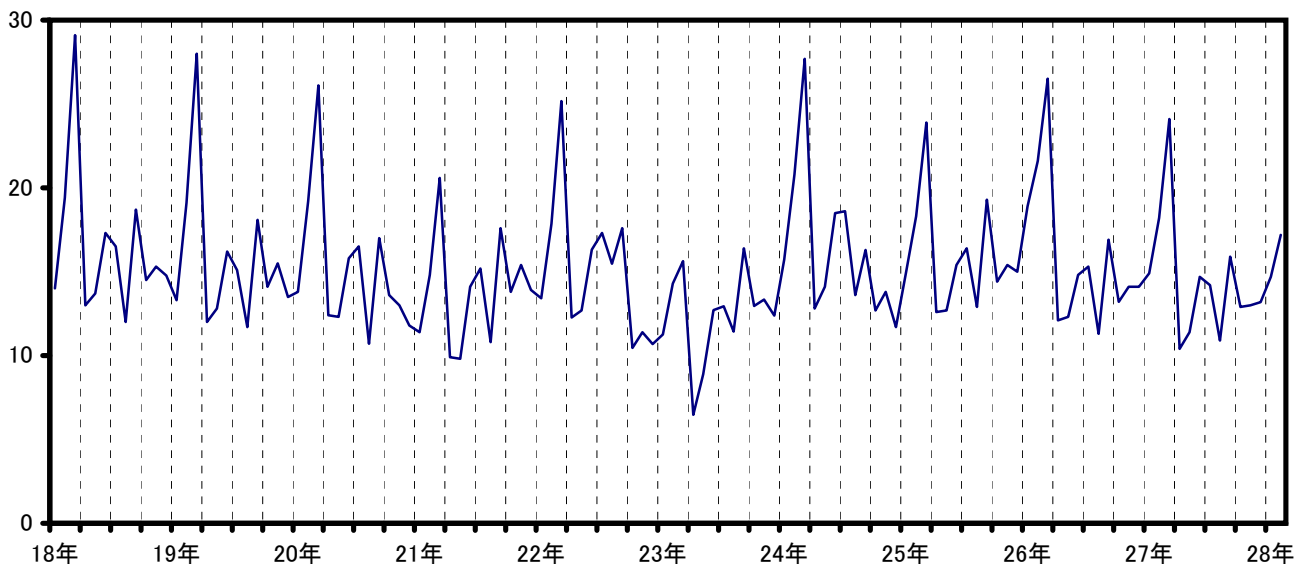
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
全乗用車	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3
乗用車	▲ 3.2	1.5	▲ 2.3	▲ 1.0	▲ 0.2	4.5	7.9	▲ 1.9
軽自動車	▲ 11.3	▲ 9.2	▲ 10.3	▲ 4.6	▲ 15.6	▲ 17.9	▲ 9.6	▲ 8.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,895戸

*前年同月比： 7.0%増

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,895戸で、前年同月比 7.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 55.8%増）が2か月ぶり、貸家（同 9.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 9.4%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

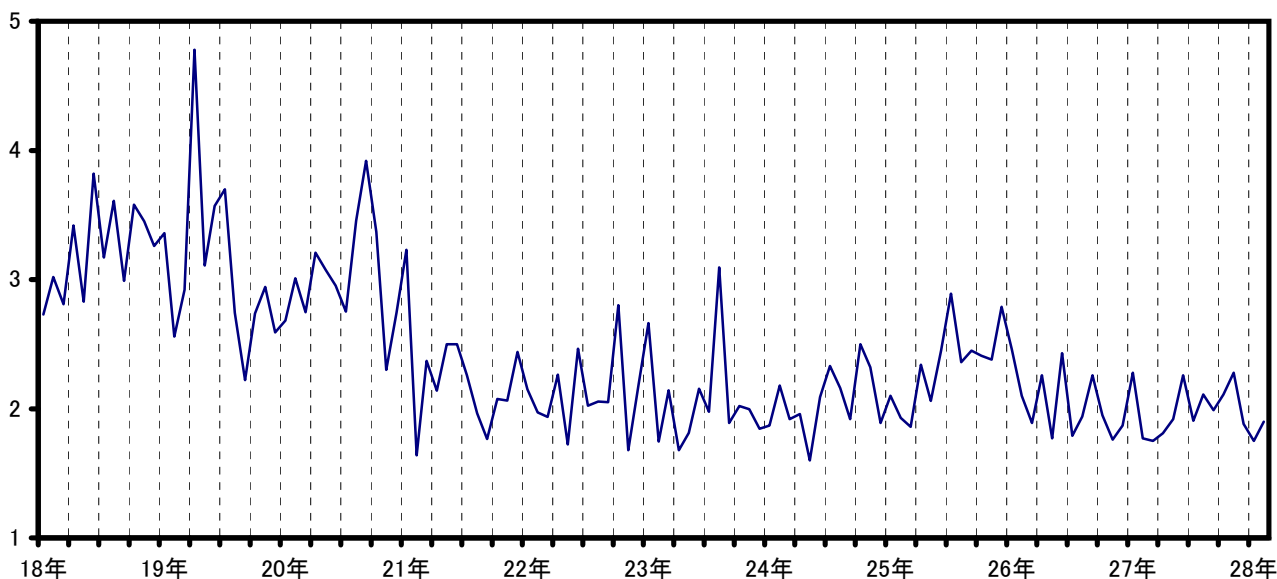
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
戸数（戸）	1,908	2,105	1,987	2,114	2,280	1,883	1,753	1,895
前年同月比（%）	6.4	8.3	▲ 12.1	8.2	29.8	0.6	▲ 23.0	7.0
うち持家（%）	15.9	14.9	▲ 15.4	5.9	24.3	▲ 1.2	▲ 16.3	▲ 9.4
貸家（%）	5.2	4.7	▲ 19.2	19.0	44.4	▲ 14.6	5.8	9.3
分譲住宅（%）	▲ 19.3	1.5	7.3	▲ 1.7	17.7	31.2	▲ 63.6	55.8
(参考)全国前年同月比（%）	7.4	8.8	2.6	▲ 2.5	1.7	▲ 1.3	0.2	7.8

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

2月 = 6,499百万円

*前年同月比：19.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は6,499百万円で、前年同月比19.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は159件で、前年同月比44.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
金額(百万円)	30,155	25,705	34,060	32,163	15,778	15,359	8,963	6,499
前年同月比(%)	1.5	11.1	▲18.4	52.9	9.2	▲0.6	▲5.4	▲19.7
年度累計前年同月比(%)	▲12.9	▲9.4	▲11.3	▲5.2	▲4.3	▲4.0	▲4.1	▲4.6
件数(件)	862	792	1,134	940	744	805	441	159
前年同月比(%)	▲1.6	11.5	▲13.7	10.1	8.6	7.5	▲4.5	▲44.8
年度累計前年同月比(%)	▲8.7	▲4.2	▲7.0	▲4.3	▲2.8	▲1.7	▲1.9	▲3.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

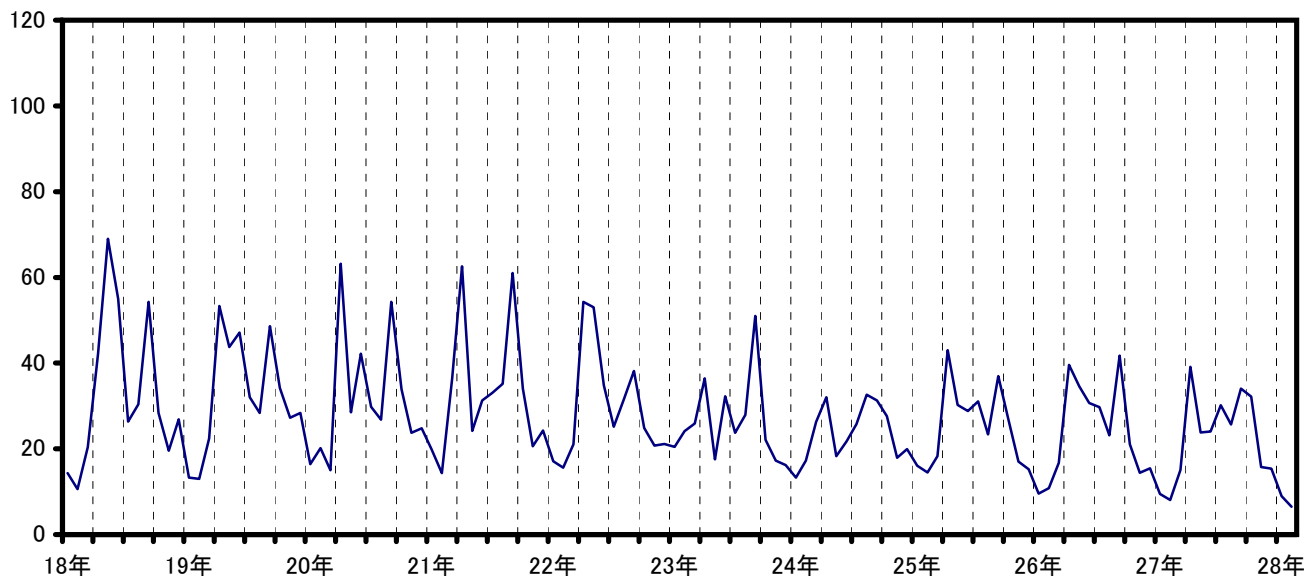
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
国	17.6	▲57.7	▲43.1	15.6	▲47.4	8.4	72.0	17.0
独立行政法人等	▲47.6	44.8	▲59.0	549.5	▲71.2	▲11.0	▲92.4	▲64.3
県	20.8	4.4	▲23.2	27.3	24.3	17.4	▲15.5	▲60.3
市町	▲13.2	35.6	▲5.7	37.2	27.3	▲0.5	18.1	▲10.6
地方公社	—	427.1	123.9	166.0	—	218.8	1,780.0	—
その他	93.9	59.6	15.9	355.4	4.2	▲46.1	▲45.6	87.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 23.6%増）、非製造業（同 8.8%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 16.2%増）でも増加する計画となっている。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 7.6%増）で増加、非製造業（同 9.2%減）で減少する計画となっており、全産業（同 0.2%減）でも減少する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は82,939㎡で、前年同月比 0.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		27年度 (計画)			28年度 (計画)			上期 (計画)	下期 (計画)	
		前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 (計画)	前回調査 比修正率				
全産業	県	16.2	▲ 2.4	13.6	0.4	18.3	▲ 4.4	▲ 0.2	9.9	▲ 8.1
	全国	8.0	0.2	5.7	—	9.8	▲ 0.2	▲ 4.8	6.3	▲ 13.2
製造業	県	23.6	▲ 4.0	22.4	0.9	24.4	▲ 7.1	7.6	30.2	▲ 7.7
	全国	10.8	▲ 1.3	7.0	—	13.8	▲ 2.3	▲ 0.9	13.5	▲ 11.7
非製造業	県	8.8	▲ 0.4	6.1	▲ 0.2	11.3	▲ 0.6	▲ 9.2	▲ 10.0	▲ 8.5
	全国	6.7	1.0	5.0	—	7.9	0.8	▲ 6.8	2.7	▲ 13.9

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年3月調査)」

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	97,942	90,364	126,652	143,311	110,179	86,797	143,745	82,939
前年同月比（%）	▲ 30.6	▲ 10.1	▲ 33.3	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 16.9	100.2	▲ 0.6
（参考）全国前年同月比（%）	0.9	▲ 7.6	▲ 2.0	▲ 22.1	▲ 6.8	6.7	▲ 11.1	▲ 12.0

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年12月	28年3月	28年6月 (予測)
全産業	7	7	▲ 3
製造業	5	2	▲ 4
非製造業	9	11	▲ 2
（参考）全国・全産業	9	7	1

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

5 輸出

2月 = 168,864百万円

*前年同月比： 3.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は168,864百万円で、前年同月比 3.5%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（同 11.0%減）が2か月連続、自動車（同 25.9%減）が10か月連続、自動車の部分品（同 4.8%減）が7か月連続、二輪自動車類（同 3.1%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（前年同月比 16.9%増）が9か月連続、科学光学機器（同 67.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 6.7%増）が3か月ぶり、米国向け（同 4.3%増）が5か月ぶり、EU向け（同 13.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
輸出総額(百万円)	182,015	159,175	169,382	172,316	154,196	179,516	143,606	168,864
前年同月比(%)	4.3	2.9	0.4	▲1.9	▲5.1	▲5.7	▲13.5	3.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
原動機	27.5	32.4	30.6	19.0	10.4	7.3	7.2	16.9
エアコン	▲23.6	▲16.0	▲13.9	▲15.5	20.4	22.9	▲24.2	▲11.0
自動車	▲18.3	▲29.9	▲44.8	▲25.0	▲29.2	▲19.2	▲46.5	▲25.9
自動車の部分品	5.7	▲10.7	▲12.3	▲10.3	▲4.4	▲3.9	▲20.4	▲4.8
二輪自動車類	▲11.5	10.7	▲19.8	▲24.2	▲37.1	▲27.2	▲22.9	▲3.1
科学光学機器	56.7	43.7	43.2	41.1	48.5	21.4	8.0	67.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
アジア	8.7	▲4.0	▲0.2	0.1	0.2	▲1.4	▲10.8	6.7
米国	▲1.3	1.8	2.6	▲4.8	▲7.0	▲20.7	▲5.2	4.3
EU	11.2	21.3	13.3	18.1	0.3	17.4	▲20.2	13.0

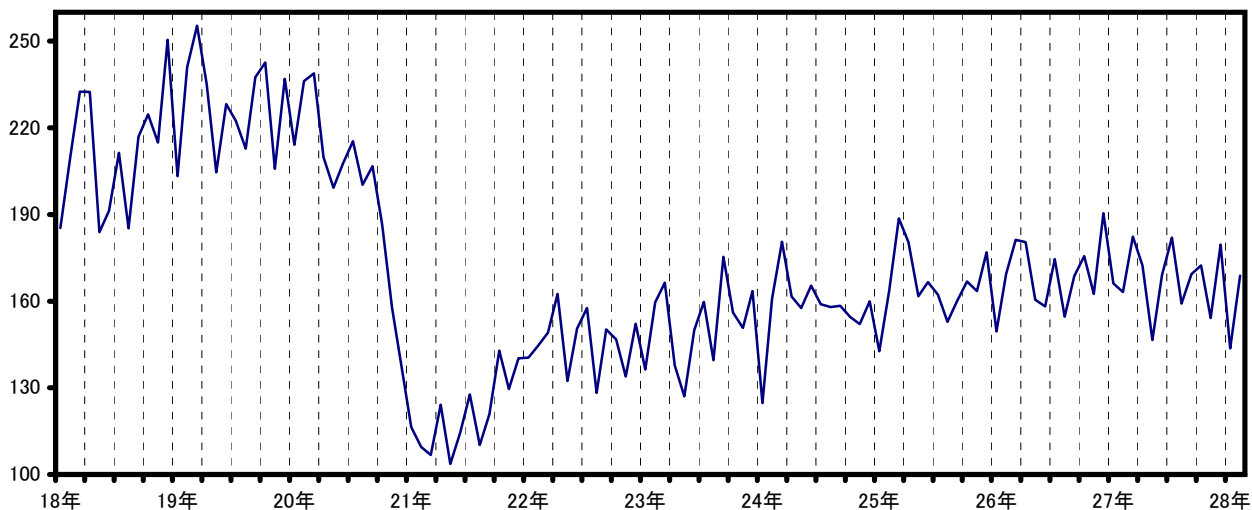
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

2月 = 76,399百万円

*前年同月比： 10.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は76,399百万円で、前年同月比 10.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 24.9%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 0.4%減）が5か月連続、木材（同 12.9%減）、パルプ（同 13.4%減）がいずれも2か月連続、原動機（同 51.6%減）が3か月連続、自動車の部分品（同 42.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 4.7%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 11.6%減）が3か月連続、EUから（同 10.1%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
輸入総額(百万円)	86,225	78,845	81,475	84,964	81,618	78,322	86,528	76,399
前年同月比(%)	6.4	0.2	▲7.8	▲3.8	8.2	▲18.4	▲11.2	▲10.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
魚介類	▲2.7	▲3.9	7.9	▲18.1	▲1.0	▲0.1	▲2.9	▲0.4
木材	▲17.3	▲6.8	▲14.2	▲35.8	▲5.2	21.6	▲11.0	▲12.9
パルプ	5.7	61.5	▲26.2	22.5	35.4	10.5	▲15.3	▲13.4
紙類及び同製品	19.5	7.4	▲17.7	▲5.1	23.9	32.2	23.4	24.9
原動機	9.4	▲0.2	17.8	▲10.9	0.0	▲27.1	▲1.4	▲51.6
自動車の部分品	▲5.1	▲26.3	▲12.0	12.6	▲18.6	▲1.5	4.5	▲42.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

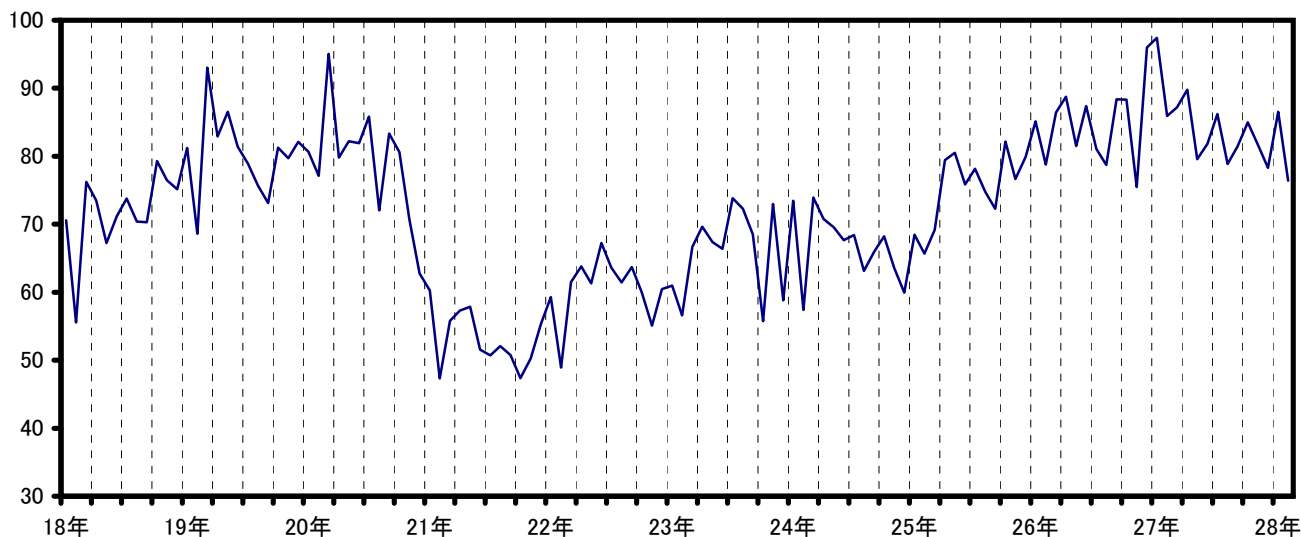
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
アジア	11.4	5.7	▲12.0	4.8	2.6	▲8.7	▲7.2	▲11.6
米国	36.1	4.0	▲26.0	41.5	80.8	▲33.1	17.2	4.7
EU	▲10.0	▲7.3	▲8.8	▲19.8	2.3	8.5	▲6.0	▲10.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

1月 = 92.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.5%増

*前年同月比(原指数) : 5.0%減

<概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は92.9(季節調整済指数)で、前月比3.5%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は5.0%減と2か月連続して前年を下回った。業種別にみると、電気機械(同2.8%減)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同1.5%減)が2か月ぶり、輸送機械(同18.7%減)が11か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比0.8%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同0.9%増)が3か月連続、化学(同14.5%増)が8か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
指数	92.7	90.0	89.9	90.3	90.1	90.2	89.8	92.9
前月比(%)	▲0.5	▲2.9	▲0.1	0.4	▲0.2	0.1	▲0.4	3.5
前年同月比(%)	0.5	▲3.9	▲1.9	▲2.1	▲4.6	0.3	▲2.3	▲5.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.0	0.2	0.2	▲0.9	▲1.4	1.6	▲1.6	▲3.8

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	10.4	▲10.8	▲3.8	▲9.7	▲0.1	12.4	▲3.5	0.8
電気機械工業	2.4	▲4.2	▲4.8	3.5	▲2.0	7.7	0.2	▲2.8
輸送機械工業	▲10.5	▲11.0	▲10.7	▲11.4	▲16.2	▲13.1	▲16.0	▲18.7
化学工業	11.1	7.9	13.5	9.7	10.7	15.5	17.0	14.5
パルプ・紙・紙加工品工業	0.3	▲6.0	3.3	1.1	▲1.0	▲0.6	0.8	▲1.5
食料品・たばこ工業	8.3	7.5	9.7	10.4	▲1.1	3.2	8.5	0.9

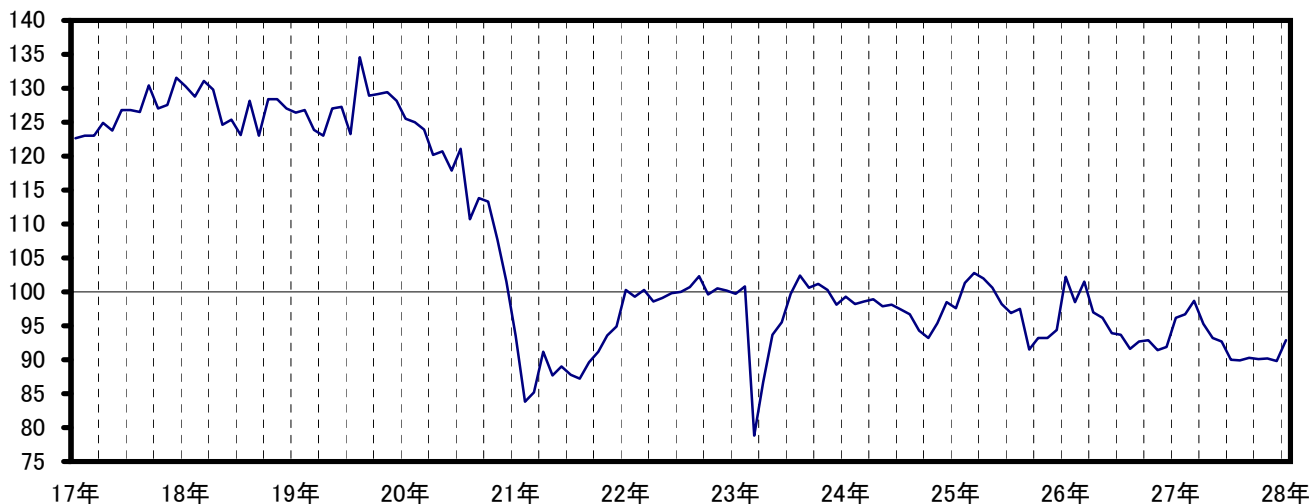
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

1 月 = 119.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.5%減

*前年同月比(原指数) : 21.2%増

<概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は119.9(季節調整済指数)で、前月比は0.5%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は21.2%増と11か月連続で前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 10.3%減)が10か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 24.4%増)が25か月連続、輸送機械(同 130.7%増)が12か月連続、化学(同 11.5%増)が6か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 13.5%増)が5か月連続、食料品・たばこ(同 6.3%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
指数	118.9	115.2	116.6	116.8	120.4	119.6	120.5	119.9
前月比(%)	6.5	▲ 3.1	1.2	0.2	3.1	▲ 0.7	0.8	▲ 0.5
前年同月比(%)	5.9	5.3	8.2	11.3	16.1	16.4	18.9	21.2
(参考)全国前年同月比(%)	3.9	2.7	2.2	2.0	0.2	▲ 0.5	0.0	0.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 2.0	▲ 8.0	▲ 1.7	▲ 7.0	▲ 5.4	▲ 6.9	▲ 7.8	▲ 10.3
電気機械工業	29.6	20.5	16.9	26.0	17.1	25.7	20.7	24.4
輸送機械工業	25.9	57.9	73.6	104.6	114.2	113.3	160.2	130.7
化学工業	▲ 6.8	▲ 6.6	3.5	10.0	17.6	9.8	14.7	11.5
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0	▲ 3.4	▲ 0.3	3.0	6.1	6.4	11.8	13.5
食料品・たばこ工業	5.5	6.9	▲ 1.8	▲ 7.9	3.2	6.5	7.1	6.3

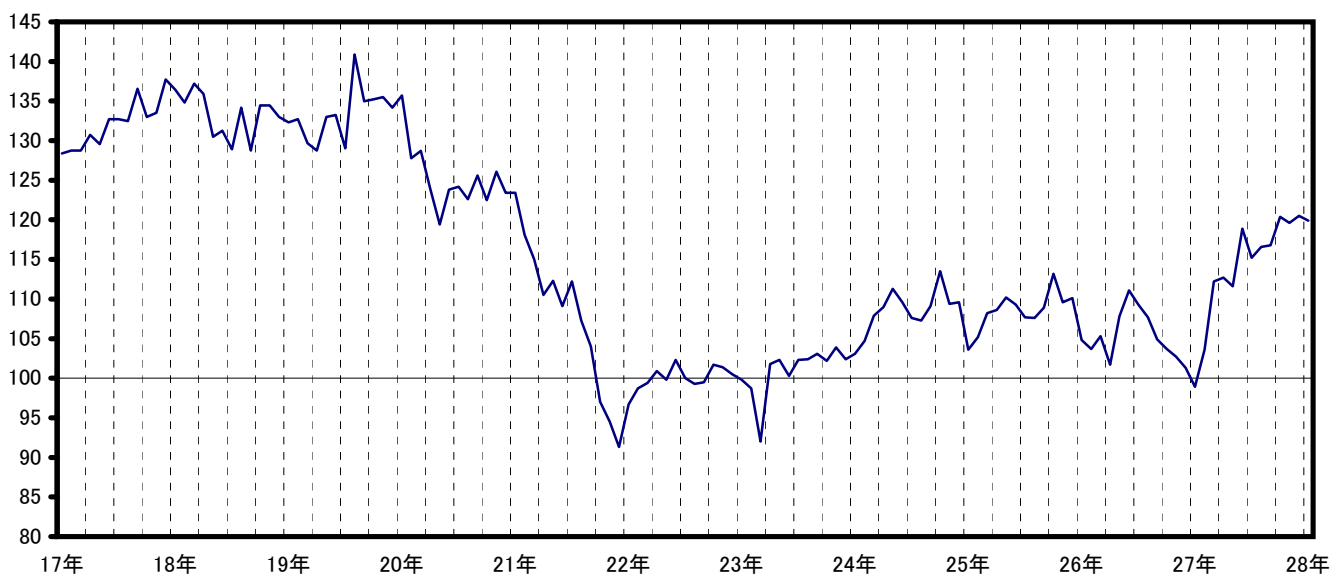
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2月 = 1.25倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

2月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.25倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、15か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比11.1%増）は2か月ぶりに前年実績を上回った。

これを産業別にみると、情報通信業（前年同月比13.1%減）は4か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同5.3%減）は2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同0.8%増）、運輸業・郵便業（同8.0%増）がいずれも2か月ぶり、医療・福祉（同9.8%増）が6か月ぶり、卸売業・小売業（同59.3%）は4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
県	1.18	1.18	1.20	1.23	1.24	1.25	1.24	1.25
全 国	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
建 設 業	7.1	0.1	10.7	2.4	2.0	14.1	▲ 5.1	0.8
製 造 業	10.5	3.5	▲ 3.2	▲ 0.7	6.7	4.6	9.5	4.6
情 報 通 信 業	9.8	17.5	1.8	21.4	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 3.2	▲ 9.7	3.8	5.1	0.8	13.3	▲ 9.4	8.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	1.4	▲ 28.4	▲ 2.1	▲ 1.3	10.5	17.5	18.9	59.3
医 療 ・ 福 祉	▲ 16.6	13.1	▲ 6.5	▲ 12.5	▲ 2.2	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8
サービス業（他に分類されないもの）	7.5	2.9	20.4	11.5	0.3	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3
合 計	▲ 2.3	0.4	3.5	▲ 1.2	3.2	6.5	▲ 5.1	11.1

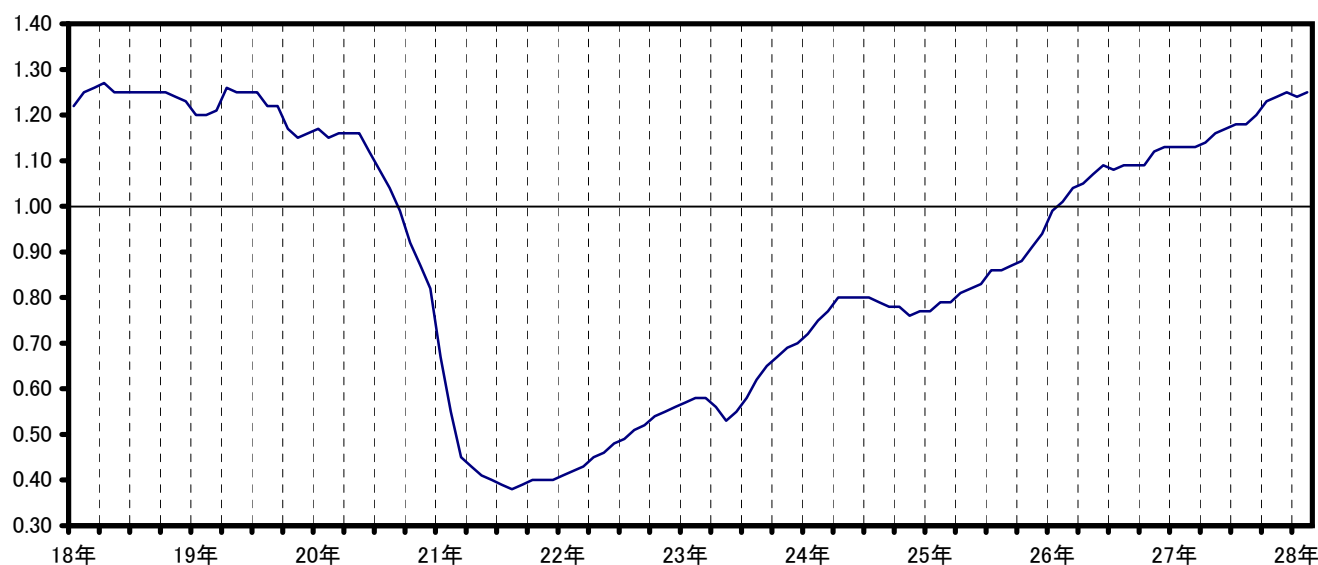
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 12,042人

*前月比: 3.9%減

*前年同月比: 8.7%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は12,042人で、前月比は3.9%減と2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は8.7%減と31か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.3%で、前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(平成27年10~12月)の完全失業率は2.6%で、前期(27年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
実人員(人)	14,967	14,815	14,542	13,753	12,991	12,320	12,525	12,042
前月比(%)	2.8	▲1.0	▲1.8	▲5.4	▲5.5	▲5.2	1.7	▲3.9
前年同月比(%)	▲5.4	▲5.1	▲6.4	▲12.1	▲8.3	▲11.0	▲10.1	▲8.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.2	▲5.9	▲7.1	▲7.3	▲3.4	▲6.3	▲6.2	▲4.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3

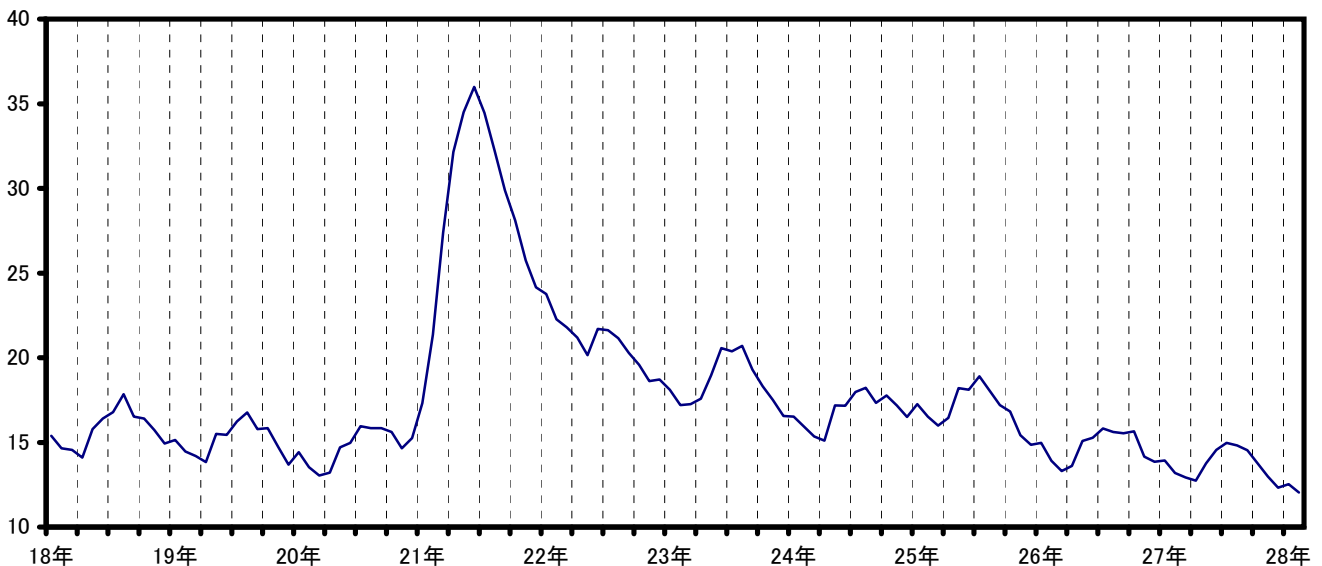
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1月 = 108.6

*前月比(季節調整済指数): 2.2%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.7%減

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は108.6(季節調整済指数)で、前月比2.2%減となった。また、前年同月比(原指数)は2.7%減となり、5か月ぶりに前年水準を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比31.6%減)、運輸業・郵便業(同10.6%減)、医療・福祉(同19.4%減)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同28.7%減)が12か月連続、製造業(同1.1%減)が9か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
指数	106.1	104.5	104.7	111.8	113.7	113.0	111.0	108.6
前月比(%)	4.0	▲1.5	0.2	6.8	1.7	▲0.6	▲1.8	▲2.2
前年同月比(%)	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7
(参考)全国前年同月比(%)	0.3	▲0.5	0.2	1.0	0.0	0.8	▲1.5	▲3.1

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
建設業	2.1	▲7.1	▲21.1	9.9	8.8	8.6	▲5.4	▲31.6
製造業	3.0	6.6	6.7	6.3	11.2	9.1	0.4	▲1.1
情報通信業	41.1	69.3	7.9	23.4	10.3	59.3	55.0	32.4
運輸業・郵便業	10.8	▲6.4	0.4	▲9.1	▲1.0	1.4	▲0.3	▲10.6
卸売業・小売業	▲9.7	▲18.0	▲12.6	▲13.0	▲7.1	▲4.1	▲4.3	▲28.7
医療・福祉	▲4.3	18.0	20.1	▲7.6	36.7	38.4	▲20.9	▲19.4
その他のサービス業	▲24.0	▲14.1	▲23.0	15.9	▲9.0	2.6	15.6	6.5
調査産業計	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7

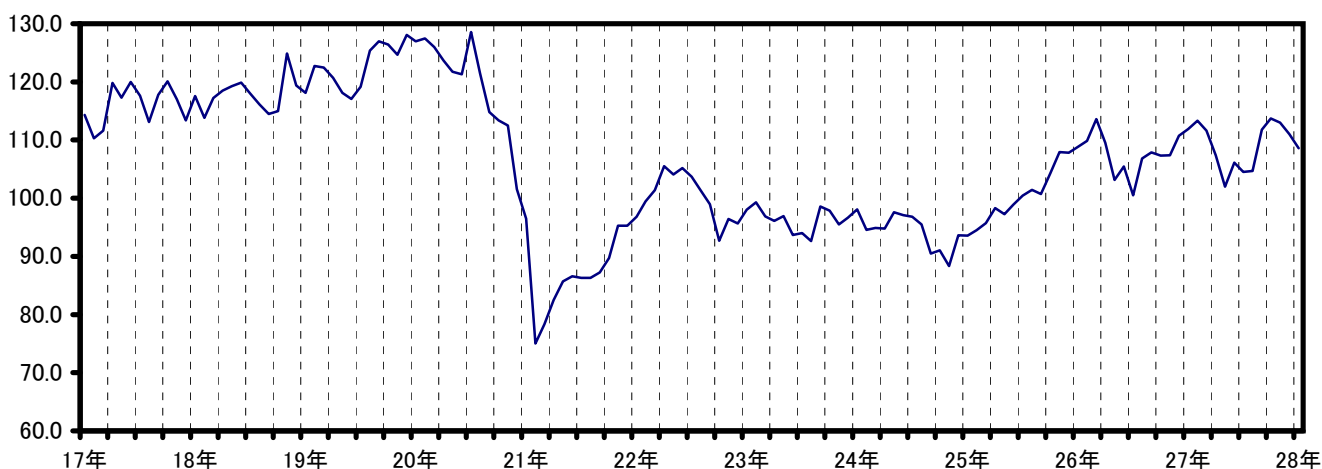
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

3 月 = 99.6

(平成22年=100)

*前 月 比: 0.1%下落

*前年同月比: 3.8%下落

<概 況>

3月の国内企業物価指数は99.6となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は3.8%の下落となった。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
国内企業物価指数	102.6	102.1	101.4	101.3	101.0	100.0	99.7	99.6
前 月 比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1
前年同月比 (%)	▲ 3.7	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8

*平成22年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 135,700億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.3%減

*前年同月比: 2.6%増

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,700億円で、前月比は0.3%減、前年同月比は2.6%増となった。

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
貸出残高(億円)	132,387	132,356	134,850	133,704	134,046	137,340	136,096	135,700
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.0	1.9	▲ 0.8	0.3	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3
前年同月比 (%)	1.5	1.4	1.6	2.0	1.7	2.8	2.8	2.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 2.164%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.005ポイント増

*前年同月差: 0.022ポイント増

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.164%で、前月から0.005ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.022ポイントのプラスとなった。

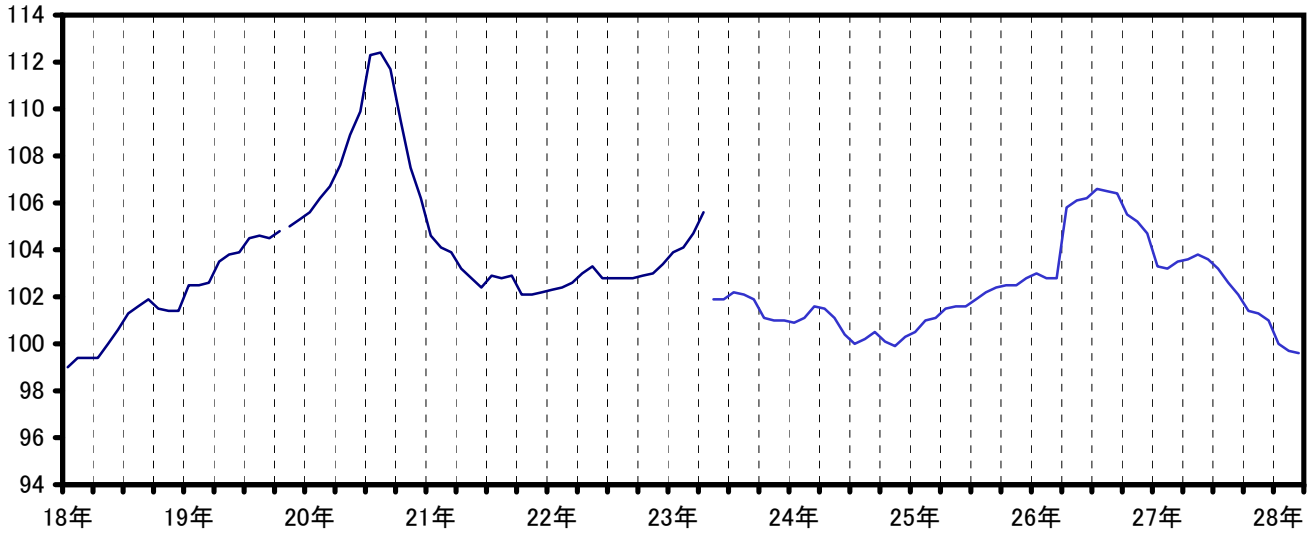
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
貸出約定金利 (%)	2.159	2.162	2.148	2.166	2.168	2.150	2.159	2.164
前月差(ポイント)	0.006	0.003	▲ 0.014	0.018	0.002	▲ 0.018	0.009	0.005
前年同月差(ポイント)	0.067	0.050	0.039	0.042	0.042	0.032	0.028	0.022

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

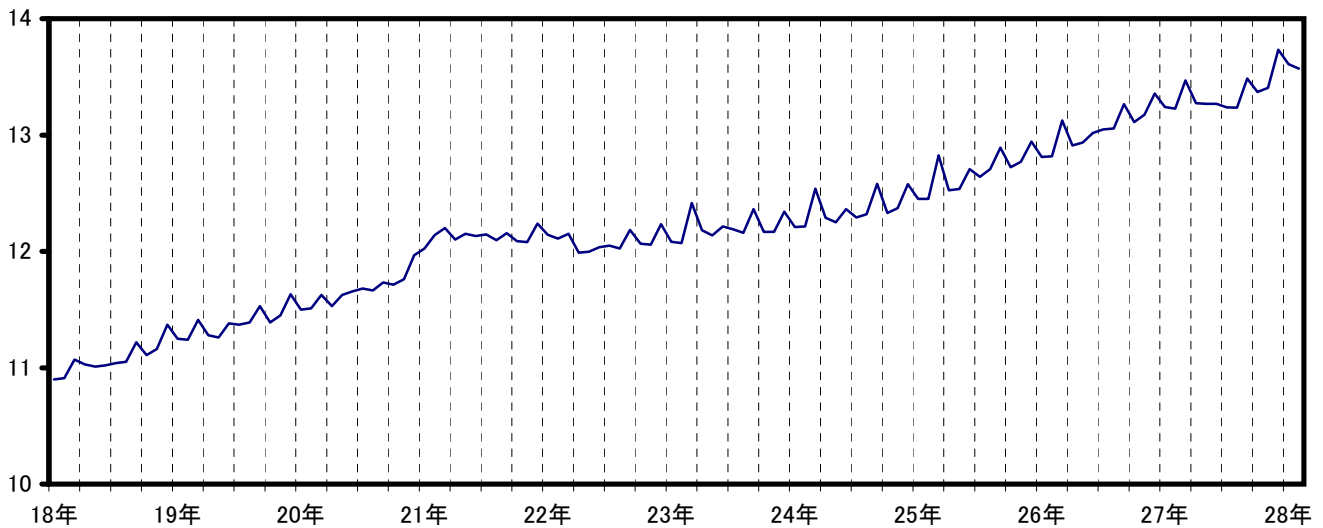
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



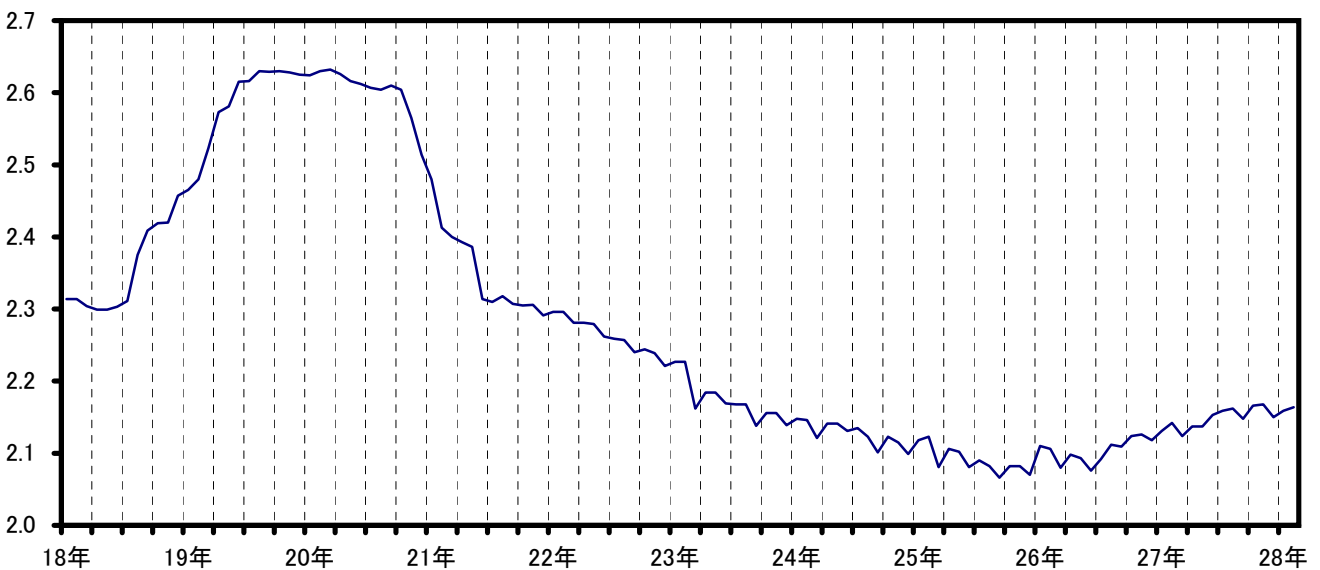
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 18,631百万円**

*前年同月比： 12.0%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額が18,631百万円（前年同月比 12.0%減）と40か月連続で前年実績を下回り、件数は2,029件（同 13.3%減）と11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
保証金額（百万円）	22,004	20,360	25,925	19,867	19,298	26,865	15,313	18,631
前年同月比（%）	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0
保証件数（件）	2,365	2,233	2,635	2,142	2,015	2,647	1,694	2,029
前年同月比（%）	▲ 13.5	▲ 2.5	▲ 6.8	▲ 2.9	▲ 6.9	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 113.07円/ドル**

*前月差： 1.95円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 7.32円高

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は113.07円で、前月と比べて1.95円の円高となり、4か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
平均相場（円）	123.23	120.22	120.06	122.54	121.84	118.25	115.02	113.07
前月差（円）	0.00	▲ 3.01	▲ 0.16	2.48	▲ 0.70	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95
前年同月差（円）	20.27	13.13	12.00	6.32	2.44	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 25件**

*前年同月比： 8.6%増

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は25件で前年実績を上回ったものの、負債総額は2,899百万円で前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が21件と全体の84.0%を占め、220か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

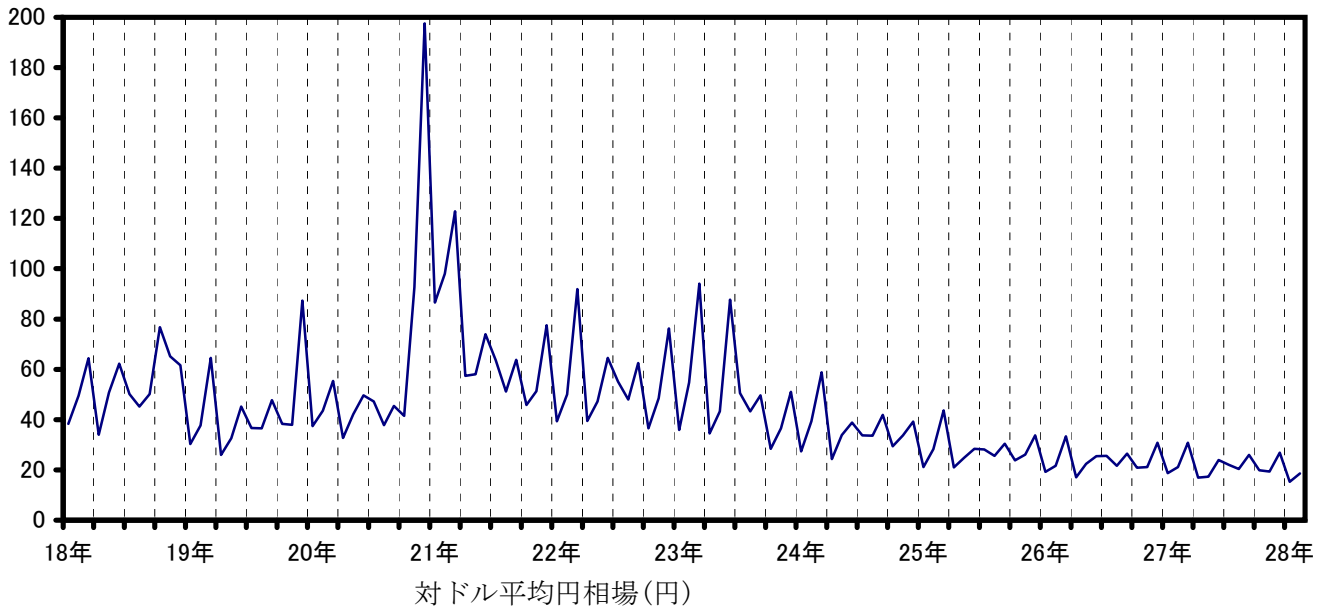
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
倒産件数（件）	18	27	18	24	19	19	27	25
前年同月比（%）	▲ 28.0	▲ 12.9	▲ 40.0	0.0	▲ 13.6	▲ 24.0	50.0	8.6
うち不況型倒産件数（件）	16	19	15	20	13	16	26	21
負債総額（百万円）	1,899	3,341	3,590	5,366	3,548	3,134	2,949	2,899
前年同月比（%）	▲ 59.5	▲ 56.5	12.7	82.8	▲ 11.6	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

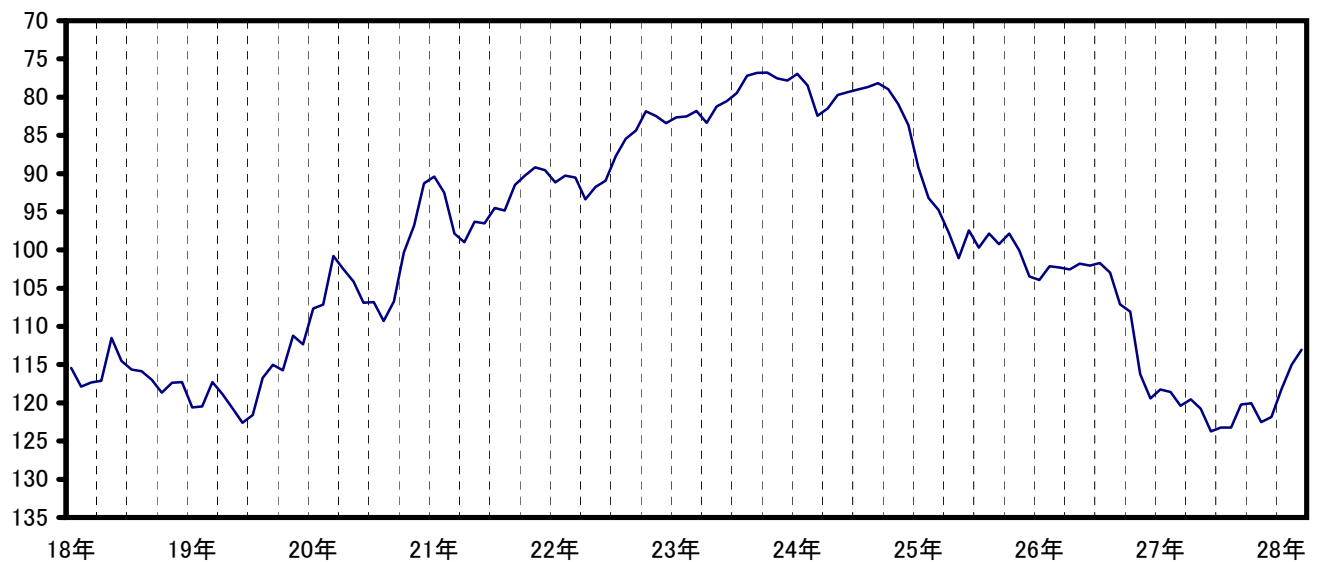
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

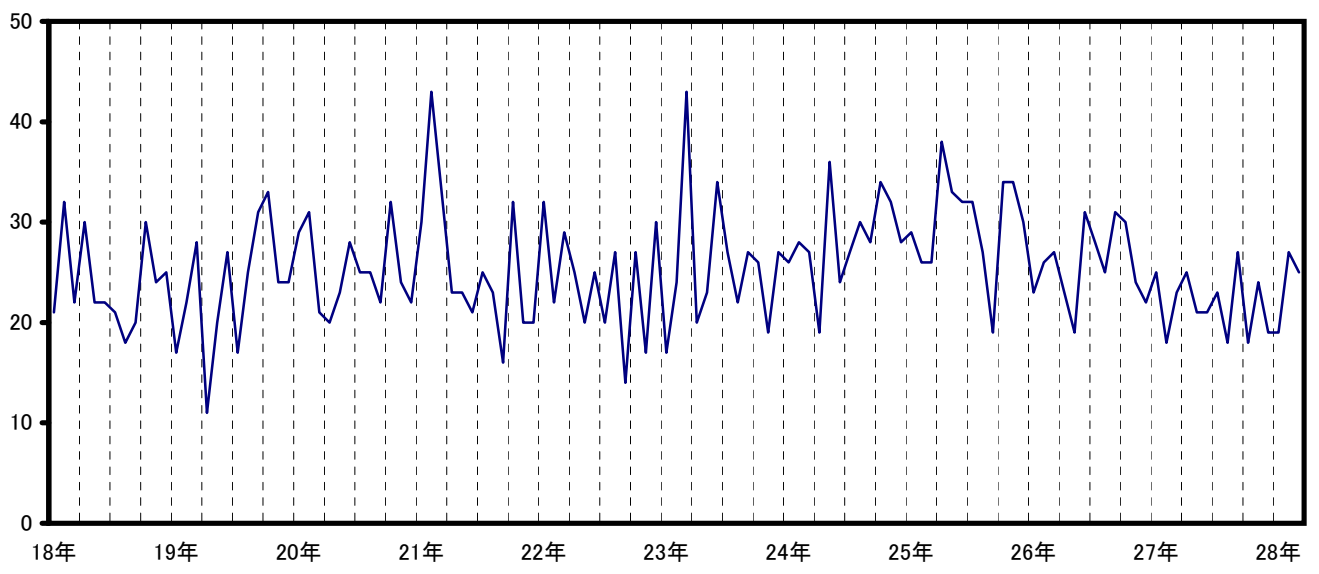


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成28年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>2月の国内二輪車生産台数は、58,114台（前年同月比15.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は10,282台（同102.2%増）と、前月に引き続き好調であった。</p> <p>出荷台数は、国内向けは28,637台（同 2.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けは、50,001台（同 3.1%減）で、9か月連続で前年実績を下回ったが、主要な輸出先である欧米向けは、ヨーロッパ向けが23,036台（同22.8%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>2月の自動車国内生産台数は766,804台（前年同月比 6.9%減）となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は369,410台（同 1.0%増）となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月連続、トラックが10か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、欧州向けが5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向けが2か月ぶり、北米向けが2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は295億1,400万円（前年同月比24.7%増）、国内出荷台数は290千台（同17.3%増）となり、ともに2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは504千台（同 1.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は65千台（同 2.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>1月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,629千台（同23.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,000千台（同 9.1%減）となり、単月のスマートフォン比率は61.3%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,019億1,000万円（前年同月比22.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は630億2,300万円（同29.1%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが255億2,200万円（同50.7%減）と、前年同月の半分近くの額となった。内需は388億8,700万円（同 8.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、新規取引先は増加したものの、薄利な取引条件や設計変更などのコストアップ要因もあり、採算面で厳しさが増しているとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、52億9,800万円（前年同月比 0.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億2,000万円（同 9.8%減）で、国内向けが26億7,800万円（同10.1%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,960台（同10.8%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,938台（同15.2%増）、グランドピアノが1,022台（同 3.3%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,056台（同17.9%増）、国内向けが1,355台（同20.0%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、2,012千ト（前年同月比 0.3%減）で、3か月連続で、前年実績を下回った。内訳は、紙は1,146千ト（同 2.1%減）で、23か月連続で前年実績を下回り、板紙は867千ト（同 2.3%増）で、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、649千ト（同 4.6%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、144千ト（同 4.5%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け845千箱（前年同月比 4.6%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は616千箱（同 1.0%減）と13か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は444千箱（同 1.2%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は229千箱（同13.0%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,128千箱（同 1.4%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,447千㎡（前年同月比 4.1%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,399千㎡（同 4.5%減）であり、別珍・コールテンの生産は、48千㎡（同 9.8%増）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、37千㎡（同 4.0%減）であった。</p> <p>産地では、生産量が減少傾向にあるため、県外や海外の各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。2月は、東京で静岡県繊維協会主催の展示会「遠州織物コレクション」が開催された。また、フランスのパリで開催された展示会「プルミエール・ヴィジョン」に併せて、同協会会員組合の会員企業が個別商談会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、55億8,100万円（前年同月比 4.0%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、398億5,600万円（同 5.6%増）と8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>
小 売 業	<p>2月の県内百貨店の売上高は、暖冬などの影響で、主力の衣料品が苦戦したが、うるう年で営業日が1日増えたことや、化粧品やバレンタイン商品を中心に食料品が好調となり、前年同月比でプラスとなった。</p> <p>ある百貨店では、バレンタインの催事で、販売期間の延長や新ブランドの追加、商品を日替わりにするなどの取組により売上が好調となったという声が聞かれた。</p> <p>ある食品スーパーからは、節分の恵方巻やバレンタインの菓子類は好調となったが、青果は、相場が不安定であったことに加え、いちごやみかんなどの単価が高く、買い上げ点数が伸びず苦戦したという声が聞かれた。</p> <p>また、2月は県内で、商業活性化の取組として、個店の店主やスタッフが講師となり、専門知識やプロだからこそ知るコツなどを無料で教える「まちゼミ」が開催された。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約26万人で、前年同月比7.0%増となった。今年の2月は天候不良の日もあったが、平年より温暖な日が多かったことなどによる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約68万台と前年同月比12.5%増である。特に、箱根スカイラインと伊豆スカイラインの通行量が大幅に増加している。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
完成車生産台数(台)	13,417	17,148	15,097	18,771	19,604	17,245	18,593	20,329	22,973
前年同月比(%)	▲2.6	▲12.3	▲8.1	▲7.6	▲22.5	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5
KD輸出額(百万円)	822	913	708	794	1,018	724	922	740	719
前年同月比(%)	▲32.0	▲17.8	▲26.0	▲37.3	▲36.8	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8

<楽 器>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
生産総額(百万円)	4,264	4,255	3,254	3,696	4,138	3,654	3,667	3,349	3,607
前年同月比(%)	▲9.3	▲10.6	▲2.4	▲4.0	7.6	6.6	5.8	▲1.0	5.5

<缶詰>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	1,059	1,008	859	910	976	968	882	835	849
前年同月比(%)	16.9	3.9	▲1.8	4.2	8.1	12.7	16.8	5.7	▲4.5
うち水産缶詰(%)	17.0	5.2	4.0	10.3	6.8	11.2	16.0	3.8	▲0.9
農畜産缶詰(%)	16.4	▲0.1	▲19.0	▲14.5	12.4	18.1	19.3	11.1	▲13.0
飲料缶生産高(千ケース)	8,765	8,637	7,172	7,133	6,316	6,770	6,466	4,321	5,128
前年同月比(%)	▲3.7	▲3.5	▲12.5	15.6	1.0	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4

<織 維>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,225	1,149	1,098	1,348	1,515	1,796	1,749	1,613	1,447
前年同月比(%)	▲0.6	▲1.7	0.3	3.7	5.9	13.7	13.9	11.7	▲4.1
小幅織物(千㎡)	38	36	33	39	40	41	39	33	37
前年同月比(%)	▲3.9	▲8.9	▲15.7	▲6.2	5.0	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0

<観 光>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
観光施設(10施設)入込 (千人)	344	304	544	477	460	394	261	282	261
前年同月比(%)	▲22.6	16.6	▲3.6	10.2	28.7	▲1.7	19.4	11.8	7.0
有料道路(5路線)通行量 (千台)	624	709	847	692	692	687	701	647	682
前年同月比(%)	▲0.7	1.0	0.7	2.0	6.6	▲1.4	4.0	3.9	12.5

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成28年4月号 通巻480号

発行 静岡県経済産業部
平成28年4月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>